

あんしんダイヤル

119

消防広報

NO. 34

京都中部しょうぼう

編集・発行／京都中部広域消防組合
〒621-0851 亀岡市荒塚町1丁目9番1号
TEL 0771-22-9581 FAX 0771-23-4535

平成23年5月1日発行

災害出動状況(平成22年1月1日～平成22年12月31日)
火災 51件・救急 5,509件・救助 69件・その他 279件

東北地方太平洋沖地震



目次

- 特集 集「東日本大地震」
- 特別企画「住宅用火災警報器設置」
- フォトレポート「日頃の活動を写真で紹介」
- トピックス「平成23年度予算」「作品表彰」「消防協力表彰」
- インフォメーション「緊急消防援助隊」「機構改革」「更新車両」「新規採用職員の紹介」

私たちは、戦後の経済成長により生活スタイルが便利になりました。しかし、地震等の災害によって住居を失いライフラインが途絶えたとき、何もない生活が始まることをこの地震が教えてくれました。

便利さに甘えることなく、「生活の原点」について家族で話し合い、子供たちに生き抜く術を教えましょう。

写真：宮城県本吉郡南三陸町志津川地区で救助活動中の京都中部広域消防組合の緊急消防援助隊



特集 東日本大震災

緊急消防援助隊の活動とこれからの私たちの備え

地震の概要(気象庁調べ)

○発生日時

平成23年3月11日(金) 14時46分頃

○震源及び規模(推定)

三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度)、深さ24km、マグニチュード9.0

○各地の震度(最大震度6弱以上)

震度7 宮城県栗原市

震度6強 宮城県湧谷町、福島県白河市、茨城県日立市、栃木県大田原市ほか

震度6弱 宮城県気仙沼市、福島県郡山市、茨城県水戸市、栃木県那須町、岩手県大船渡市、群馬県桐生市、埼玉県宮代町、千葉県成田市ほか

○津波

3月11日(金) 14時49分 大津波警報・津波警報発表

マグニチュード9.0という世界でも類を見ない大規模な地震によって、尊い生命と財産が一瞬にして失われた東北関東地方では、今も避難所生活を余儀なくされています。

地震発生の当日には、緊急消防援助隊に登録している京都中部広域消防組合救助隊員5名と救助工作車1台を派遣しました。

津波によって廃墟と化した南三陸町において、救助活動中の京都中部広域消防組合緊急消防援助隊↓



↑建物内に進入する緊急消防援助隊
病院内を検索中→



緊急消防援助隊(第1次隊長)の手記より(抜粋)

現地に到着した我々は、言葉を失いました。あるべき街並みが跡形もなく消え、どこで助けを求めているのかも見当もつかない状況を見たとき、「これが現実なんだ。」と自分自身に言い聞かせ、「やるべきことをやる。」そんな気持ちから部下たちに活動方針を伝えました。

街は、住宅が流され、耐火造の建築物は姿をとどめているものの、ほとんどの建物は津波に流されている状況でした。そうしたなかで、我々は、病院と福祉施設に救助に向かいました。

病院は、4階まで津波の被害を受けていたため、4~5階の逃げ遅れ者の救出に建物内へ進入したところ、一足先に到着した自衛隊によって一部の人々が救出されていましたので、ほかに逃げ遅れがないか検索活動を行いました。

何度も余震があるなか、津波警報のサイレンや無線による避難指示など、何度も何度も活動は中断し、助けたい気持ちを抑えながら救助活動に専念しました。

今後は、管内の方々に災害の脅威を伝えていかなければと誓いました。

災害に備え、非常持出品の確認をしましょう

1 次的に持ち出す品（最初の1 日間をしのぐためのもの）

福島県の消防士から届いた
一通のメール

◆基本品目【共通事項】大人2人分

品名	数量	注意事項
非常持出袋	1	取り出しやすい場所に設置
缶入り乾パン	2	最低限の食料
ペットボトル入り飲料水 500ml	6	水は1人1日3ℓが必要と言われ、重量の点からその半分程度は準備
懐中電灯	2	1人に1個、予備電池も必要
ローソク	2	長時間の使用可
ライター	2	ローソク、暖房器具への点火
携帯ラジオ	1	情報収集用、予備電池も必要
軍手、手袋	2	
タオル	4~	汚れの拭取り、ケガの手当、下着の代用等
ポリ袋	10	物入れ、雨具の代用等
トイレットペーパー	1	トイレのほか、多用途に使用
ウェットティッシュ	1	水がない時に使用
万能ハサミ	1	サバイバルナイフ等も準備
救急箱	1	
毛抜き	1	
消毒薬	1	
脱脂綿	適当量	
ガーゼ	2	
三角巾	2	
絆創膏	10	
包帯	2	
マスク	2	
常備薬	適当量	処方薬のコピーも準備
持病薬	適当量	
ロープ5m	1	救助用（人の体重に耐える強度）
レジャーシート	2	1人あたり1畳分程度
サバイバルブランケット	2	軽量防寒用に便利
現金（10円玉）	50	公衆電話に使用
布テープ	1	伝言メモ等に使用
油性マジック	1	
筆記用具	1	メモ帳、ペン類

◆必需品・貴重品

品名	注意事項
現金	
車や家の予備鍵	
予備メガネ・コンタクトレンズ	
携帯電話	
預貯金通帳	コピーや番号の控えなどの工夫も可
健康保険証	コピーや番号の控えなどの工夫、又、
運転免許証	身分証明証に使用可
パスポート、外国人登録証	
印鑑	
証書類	
住民票	

◆女性用品

品名	注意事項
生理用品	傷の手当等ガーゼの代用も可能
ホイッスル付ライト	
鏡	
ブラシ	
化粧品	
おりものシート	下着の代用も可能

◆高齢者用品

品名	注意事項
高齢者手帳	
おむつ	
着替え	
持病薬	
予備メガネ	
介護用品	

◆赤ちゃん用品

品名	注意事項
粉ミルク	
哺乳瓶	
離乳食	
スプーン	
洗浄綿	
バスタオル	
ガーゼ	
紙おむつ	
母子手帳	
玩具	
着替え	
ベビーカー	荷物運搬用の代用

3月17日 福島県いわき市から
(原文のまま)

応援、そして、ご支援の言葉、ありがとうございます。

街も生活も全て失いましたが、同時にたったひとつ得たものがあります。

この大震災で、自分達は忘れていた絆を得ることができました。周囲には、己のエゴを主張する者は一人もいません。家を無くし、家族を無くしてもみんなで何とか協力していこうと前向きに任務を遂行しています。

今日もみんなで円陣を組み、これから行方不明者の捜索です。

放射線量が異常な値の場所で、何人の遺体をこれまで搬送したのでしょうか。

不屈の東北魂でやり遂げたいと思います

私たちは、災害の猛威をあの阪神・淡路大震災で十分知っていたはずですが。

しかし、月日が過ぎて、その大切な思いを忘れてはいませんか？

非常持出品は、各自で準備するものですが、私たちの隣近所で協力することが本当はもっと大切であることをこの災害で学んだのではないのでしょうか。

「自助」、「共助」の絆を大切にするためには、「普段の心掛け」と「災害に対する訓練」が必要です。自治会、町内、隣組み、職場、サークル、PTA、老人クラブ、婦人会等のあらゆる機会を利用してみんなで訓練に取り組みましょう。



特別企画

住宅用火災警報器

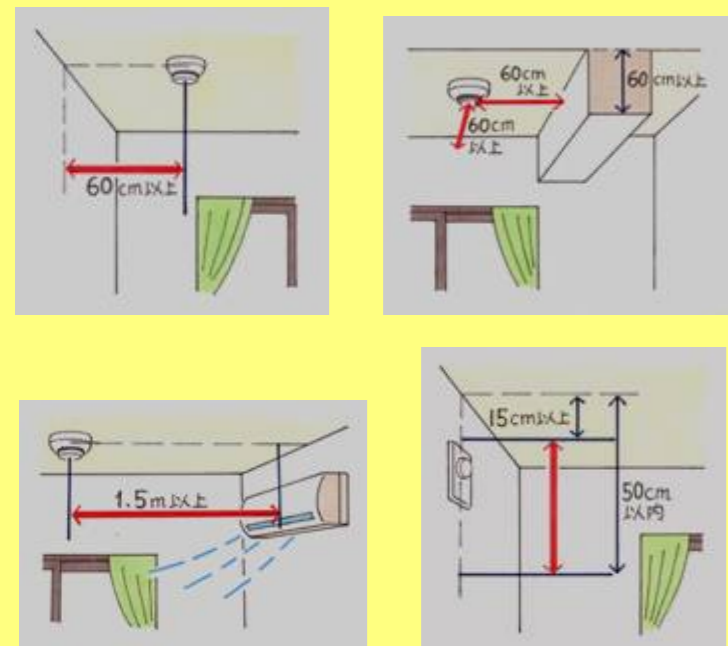
あなたの家庭は本当に安心ですか？

【設置期限：平成23年5月31日】

1 取り付け場所を知っていますか？



取り付ける場所は
台所・階段・寝室（主寝室、子供部屋）



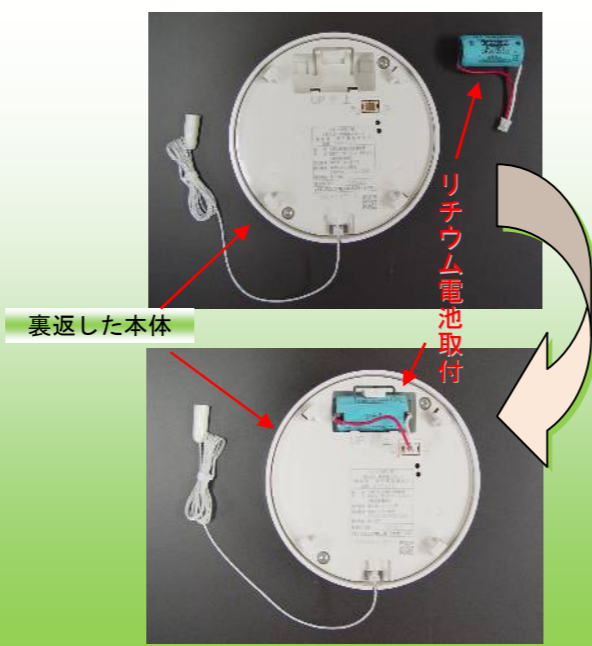
煙の性質は、「壁と天井の角」や「たれ壁の近く」には、流れ込みにくいので、イラストに従って取り付けましょう。

2 取り付け方法を知っていますか？

住宅用火災警報器は、簡単に取り付けられますので、写真を参考にしながら、天井と壁の距離やたれ壁、エアコンの吹出口等の距離に注意して、効果的に取り付けましょう。



① 箱（ケース）から取り出し、部品がそろっているか確認する。【写真は、一例】



② 本体を裏返し、リチウム電池を取り付ける。次に、ボタンを押して、（又は引きヒモを引く。）警報音が鳴るかを確かめる。

住宅用火災警報器の取り付け方法 【例】（木造の天井に取り付ける場合）



③ 天井（壁）にドライバーを用いて、ネジで取付ベースを取り付ける。



④ 取付ベースに本体を添わせて、ロックするまで右回転させる。



⑤ ボタンを押して、（又は引きヒモを引く。）警報音が鳴り、作動灯が点灯するかを確かめる。

⑥ 家族に警報音を聞かせ、警報音が鳴ったときに避難する方法などを話し合う。

悪質な訪問販売にご注意！

消防署の名を使い、巧妙な手口で訪問販売する悪徳な業者が横行しています。不審に思えば「買わない。契約しない。」を徹底しましょう。

3 助かった事例を知っていますか？

「安全」と思い込むと思わぬところに落とし穴があるものです



全国各地で住宅用火災警報器によって助かった事例が報告されていますので、その一部を紹介いたします。

「不安」という心の叫びに「安全・安心」という息吹を注ぐのは、「住宅用火災警報器」です。

居住者が気付く！

漏電によって2階部分の壁から出火し、天井に燃え広がったもの。居住者が1階台所で食事中、2階寝室に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気づき、消火器で消火した後、119番通報を行った。（富山県）

就寝中に居住者が気付く！

50代男性がベッド脇の床面上に火のついた蚊取り線香を置いたまま就寝中、寝返りを打った際に布団が落下したため、蚊取り線香に接触し、出火したもの。住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、布団を台所の流しに持って行き、水道水で消火した。（神奈川県）

火遊びによる火災を発見！

幼い兄弟が押入れの中で、ライターでティッシュを燃やして火遊びをしていたため、出火したもの。別室にいた母親が住宅用火災警報器の警報音に気づき、台所で水道水を洗面器に汲んで消火したため、幼い兄弟も怪我なく済んだ。（岡山県）

ハーフタイム
なぞかけ

「住宅用火災警報器」
と、かけて

①「上司（じょうし）」 と、ときます。
②「カレンダー」 と、ときます。
そのころは・・・フォトレポートの頁に掲載

フォトレポート 日頃の活動の一部を写真で紹介します

11月 12月



亀岡市湯の花平区 消火訓練



南丹市はぎの里 救命講習



亀岡市北古世町 消火訓練



南丹市和泉区 消火訓練



亀岡市ひかり幼稚園 放水体験



京丹波町わちエンジェル
防火パレード

1月



南丹市 普濟寺消防訓練



亀岡市 與能神社消防訓練



京丹波町 大福光寺消防訓練

2月 3月



南丹市 南丹大学講座
住宅用火災警報器設置促進広報



亀岡市トロッコ亀岡駅
災害対応訓練



南丹市 防火落語講演会

平成23年度全国統一防火標語

消したはず
決めつけしないで
もう一度

なぜかけ そのころは？

- ① 「住宅用火災警報器」と、かけまして 「上司 (じょうし)」 とときます
そのころは 「期限 (機嫌) がつきものです」
- ② 「住宅用火災警報器」と、かけまして 「カレンダー」とときます
そのころは 「どちらも火 (白) を教えてください」

平成23年度予算の概要

平成23年度一般会計予算の総額は、19億8,057万4千円で、前年度に比べ1億3,263万4千円(7.2%)の増となっています。

歳入のうち、各市町からの負担金が17億8,949万5千円で、全体の90.35%を占めており、歳出は人件費及び公債費の義務的経費が82.62%を占め、物件費は6.09%、普通建設事業費及び積立金等が11.29%となっています。

地域の消防対応能力の強化

- 幼年消防大会、防火ポスターコンクール、消防ちびっ子写生大会、住宅防火診断、移動消防署、防火グラウンドゴルフ大会等による防火防災意識向上の事業
- 各種予防運動等の啓発ポスター、防火広報用冊子、パンフレット、啓発懸垂幕等の作成
- 救命講習会、救急フェア等による応急手当等の普及推進

消防防災体制の充実強化

- 消防緊急通信指令システム的设计
- 消防ポンプ自動車、化学消防自動車の更新
- 山岳救助隊、救急隊、救助隊の資機材の充実
- エアータントの整備

消防組織等の確立

- 救急救命士の養成



防火ポスターコンクールの表彰

南丹市立知井小学校5年生
曾利大輔さんの作品



消防ちびっ子写生大会の表彰

亀岡市立千代川小学校2年生
野々村優子さんの作品



子供たちを対象にした図画作品のコンテストを亀岡市危険物安全協会及び南丹・船井危険物安全協会、京都府LPガス協会南丹船井支部のご協力をいただいて開催したところ、多数の応募をいただき、厳正な審査で選考された作品を火災予防運動啓発ポスターとして、亀岡市、南丹市及び京丹波町内の約1,500箇所に掲出し、まちの安全・安心に貢献していただきました。

- ◆「消防ちびっ子写生大会」
亀岡市内の子供たちが対象
【平成23年春季火災予防運動啓発用ポスター】
- ◆「防火ポスターコンクール」
南丹市、京丹波町内の小学生が対象
【平成22年秋季火災予防運動啓発用ポスター】

救急救命処置に感謝状贈呈

人口呼吸と心臓マッサージによる
人命救助に対する貢献



平成22年7月に南丹市内のプールで3歳の男児が遊泳中に溺れ、うつ伏せで浮いているのを母親が発見し、近くにいた宗和正晴さんが心肺蘇生法を実施されました。呼吸、脈拍が再開し、園部消防署の救急隊とドクターヘリにより医療機関に搬送したところ、翌日には退院することができました。

その迅速な応急手当をたたえたものです。

火災時の救出活動に感謝状贈呈

火災による濃煙の中から果敢に救出した人
命救助に対する貢献



平成22年11月に亀岡市内で発生したマンション火災において、2階のベランダで助けを求める46歳の母親と8歳の息子を居合わせた阪大輔さんと付近で仕事をしていた松井雅彦さんが協力して救出され、到着した亀岡消防署の消防隊と救急隊に引き継がれました。

その勇気ある行動をたたえたものです。



インフォメーション



緊急消防援助隊



被災地の消防力では、対応困難な大規模災害や特殊な災害が発生した際に、その市町村長、都道府県知事又は消防庁長官の要請により、都道府県を単位に部隊を編成し、出動するものです。(写真：宮城県へ向かう京都府49隊の車両)



平成23年4月1日から次のように機構改革を行いました。

消防本部

総務課、消防課のほかに**指令課**を新設
※ 災害の複雑多様化、情報量の膨大化に伴い、指令管制の統一と強固な指揮命令系統の確立を図るため、新たに組織を設けました。

亀岡消防署

東分署に警防係のほか、**救急係**を新設
※ 救急需要の増加に伴い、迅速な出動体制の確立を図るため、新たに係を設けました。

消防車両を更新しました

平成22年12月更新 園部消防署美山出張所 タンク付き消防ポンプ自動車



この車両は四輪駆動車で、従来の車両と同じ大きさでありながら、700リットルの水を積載し、現場活動の迅速化を図っています。



また、照明装置にLEDを配し、夜間活動の効率化とエネルギーの省力化を図っています。



—編集後記—

東北地方太平洋沖地震では、多くの方々が亡くなり、心よりご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

この災害は、人命救助を任務とする私たちにとって耐えがたい現実となりました。今後は、この事実を伝え、みなさんの防災意識の向上を図るべく、奮闘します。

さて、平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務化となりますが、これは、まさに「安全・安心の第一歩目」と言えます。

家族で防災について話し合うとともに、火災から命を守る住宅用火災警報器を必ず期限までに設置をお願いします。(S)

◆平成22年度新規採用職員

約1年間の研修、訓練を終え、第一線で活躍することになりました。よろしくをお願いします。



川勝 俊亮

初心を忘れず、住民の思いに応える消防士を目指し、日々精進していきます。



柏木 悟

消防士としての自覚と使命感を持ち、日々精進する心を忘れない消防士を目指します。



林 貴大

安心・安全なまちづくりのため、住民に信頼される消防士を目指します。



笠松 比呂

初心を忘れず、常に向上心を持ち、皆さんが安心して生活できるよう日々の業務に努めます。

住宅用火災警報器、防火・防災、救急講習会など、何でもご相談ください

消防組合	会計課	22-9580			
消防本部	総務課	22-9580	消防課	22-9581	指令課 22-9582
亀岡消防署	予防課(庶務)	22-0119	予防課(予防)	22-9583	警防課 22-9584
	東分署	23-0119			
園部消防署	予防課・警防課	62-0119			
	八木出張所	42-3119	日吉出張所	74-0119	美山出張所 75-0119
	丹波出張所	82-0119			